

2015年3月期 第2四半期 決算説明会



株式会社 オートバックスセブン

社長執行役員 湧田 節夫

2014年10月31日

1. 上期の振り返り

2. 通期の業績予想修正および下期の考え方

1. 上期の振り返り

2015年3月期上期 連結損益計算書

(億円)

	2015年3月期 上期				2014年3月期 上期 実績
	予想	実績	前年比	予想比 増減額	
連結売上高	981	980	▲5.5%	▲1	1,037
売上総利益	316	306	▲11.7%	▲10	346
売上総利益率	32.2%	31.2%	▲2.2pt	▲1.0pt	33.4%
販管費	302	301	▲0.4%	▲1	302
営業利益	14	5	▲88.6%	▲9	45
営業利益率	1.4%	0.5%	▲3.8pt	▲0.9pt	4.3%
営業外収支	10	8	▲25.2%	▲2	11
経常利益	24	14	▲75.8%	▲11	56
特別損益	-	4	-	+4	▲2
当期純利益	13	4	▲85.9%	▲9	30

四捨五入表示

対売上比・前年比・計画比は百万円単位で計算

予想値は第1四半期発表時の修正予想

1. 第1四半期：消費税増税前の駆け込み需要の反動
2. 第2四半期：新車販売の不調、ガソリン価格の上昇、天候不順、消費の足踏み状態
3. 事業環境に対応した追加販促の実施
売上は貢献したが、利益貢献は軽微
4. 反省：現場におけるディーラーや競合カー用品店への対策が不十分

2015年3月期 単体・店舗子会社の損益計算書

(百万円)

2015年3月期	単体				国内店舗子会社			
	Q1		Q2		Q1		Q2	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
売上高	39,312	▲ 6.2%	39,350	▲ 1.0%	14,700	▲ 17.6%	15,801	▲ 12.5%
売上総利益	7,587	▲ 13.6%	8,412	▲ 3.1%	5,486	▲ 18.5%	5,696	▲ 16.5%
売上総利益率	19.3%	▲ 1.6pt	21.4%	▲ 0.5pt	37.3%	▲ 0.5pt	36.0%	▲ 1.8%
販管費	6,213	+3.6%	6,795	+12.3%	6,943	▲ 6.0%	6,637	▲ 9.8%
人件費	2,846	+7.4%	2,780	+5.8%	3,417	▲ 6.9%	3,208	▲ 10.3%
販売費	1,350	▲ 0.6%	1,807	+55.1%	903	+5.0%	890	+2.8%
設備費	734	+1.0%	805	+3.6%	1,794	▲ 7.8%	1,750	▲ 13.6%
その他	1,281	+1.8%	1,403	+4.5%	829	▲ 9.3%	789	▲ 11.2%
営業利益	1,373	▲ 50.6%	1,617	▲ 38.7%	▲ 1,457	—	▲ 941	—

四捨五入表示
対売上比・前年比は百万円単位で計算

2015年3月期上期 連結営業利益の分析

国内小売売上前年比	全店▲7.2%/既存店▲8.6%
-----------	------------------

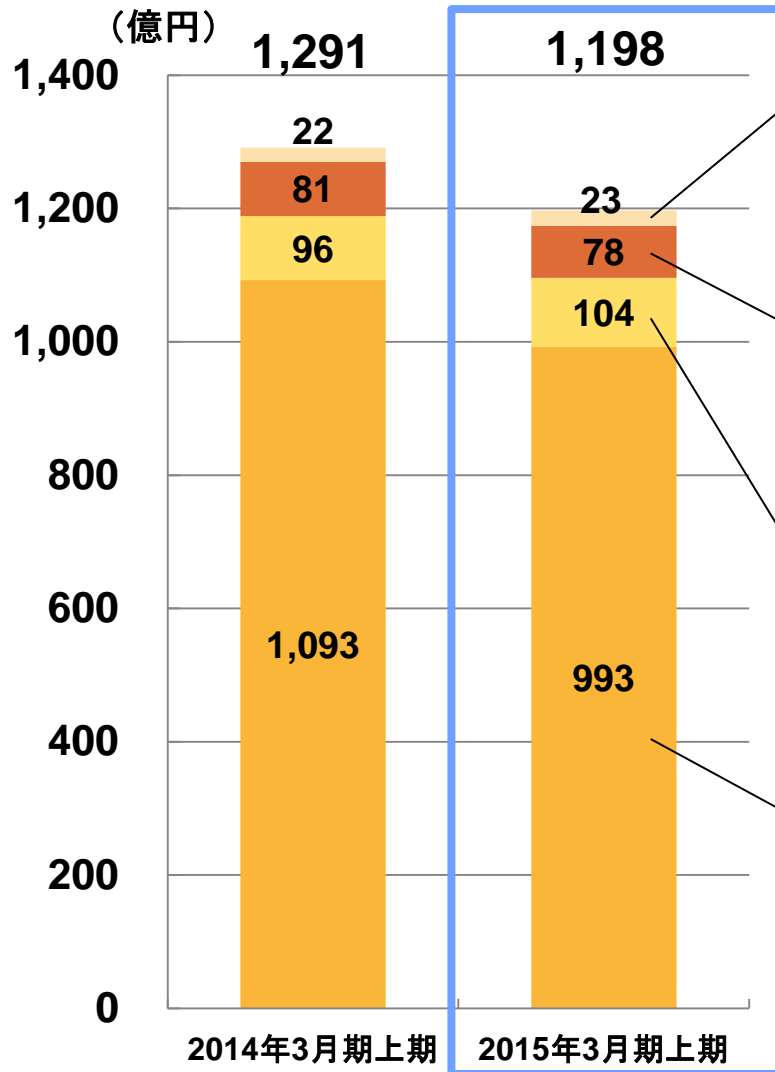
		営業利益	前年比
セグメント	単体	29.9億円	▲24.3億円 【要因】 売上高 ▲30.0億円(▲3.7%) 粗利額 ▲14.6億円(粗利率:20.3%←前年21.4%) ・タイヤ・ホイールなどの売上減少に伴う粗利率の低下 販管費 +9.6億円 ・広告宣伝や販売促進の強化による販売費の増加 ・前年度業績に対する業績連動報酬などの増加
	国内店舗子会社	▲24.0億円	▲12.1億円 (売上高▲54.0億円、▲15.0%) 消費税増税の反動、市況の冷え込みなどによる売上減少
	海外子会社	▲0.7億円	▲1.4億円
	事業・機能子会社	2.8億円	▲0.7億円
単純合算		8.0億円	▲38.4億円
連結調整		▲2.9億円	調整額の前年差額1.1億円(増加) 少数株主からの子会社株式取得に伴うのれん償却額の増加
連結		5.1億円	▲39.6億円

四捨五入表示

2015年3月期上期 国内店舗売上高(全業態)



国内店舗売上高※ 1,198億円 前年比▲7.2%



中古品・燃料

23億円(前年比+6.8%)

車検・整備

78億円(前年比▲3.9%)

26.7万台(前年比▲3.5%)

指定認証拠点 382店(前期末 379店)

車販売・買取

104億円(前年比+8.1%)

10,626台(前年比+7.5%)

カーズ加盟店舗 407店(前期末 359店)

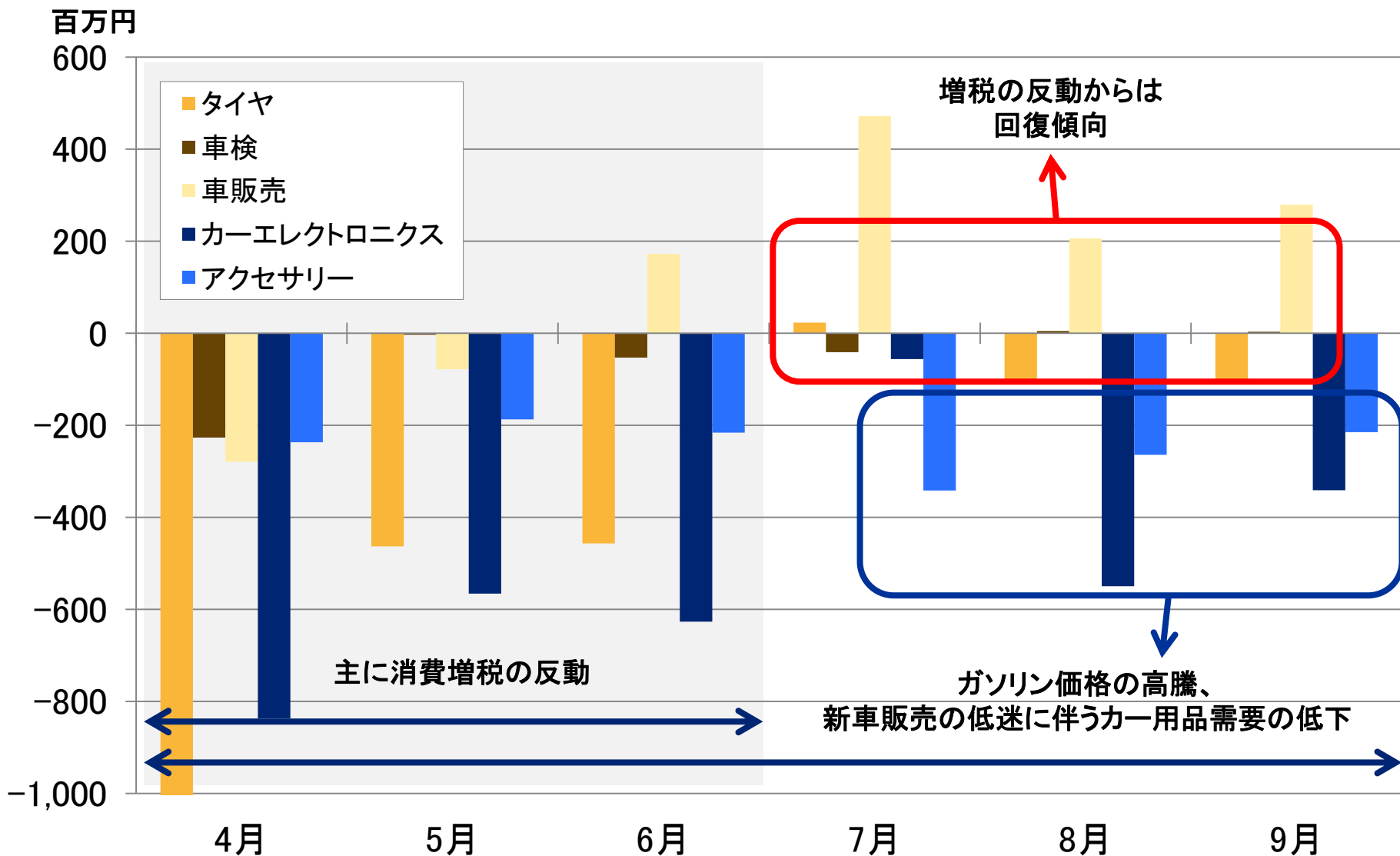
カー用品販売+サービス

993億円(前年比▲9.2%)

対象:※国内全業態の売上高

四捨五入表示

主な商品別月次売上の状況(全店ベース)



※対象:国内全業態(オートバックス、スーパーオートバックス、カーズ、セコハン市場、エクスプレス)の売上高

上期に実施した施策 カー用品販売

- プライベートブランド商品戦略の推進
 - ・新プライベートブランド「AQ.」の発売開始
 - ・新PB・専売タイヤの発売
- 夏商戦のダイレクトメール、発送対象の変更
⇒昨年夏から回収率、貢献率が改善
- 会員制度の変更による魅力度の向上
⇒オイル会員からメンテナンス会員に



新PB
売場イメージ



メンテナンス
会員カード

新プライベートブランド「AQ.」の例(ミラー売場)



改装前



改装後

新たなお客様の獲得、店舗で販売していない商品の販売という面で成果が現れている

上期売上実績： 5.9億円(前年比+2.3%)

宅配：2.4億円

店舗受取り(店舗売上として計上)：3.4億円

・チャンネル別 自社サイト経由 約66%

ショッピングモール 約34%

【行った施策】

- ・品ぞろえの見直し(9月末現在 約100,000SKU)
- ・独自販促の展開
- ・Amazon.co.jpが販売した商品の店舗取付開始
- ・スマートフォンアプリ刷新
- ・AUTOBACS.COMでオイル購入と同時にオイル交換作業予約受付を開始

	店舗名	都道府県	運営法人	出店日	居抜き物件
1	オートバックス愛西プラザ	愛知県	FC	2014年4月24日	
2	オートバックス・常陸大宮店	茨城県	子会社	2014年6月13日	
3	オートバックスタイヤ専門館沼津みなと店	静岡県	FC	2014年7月24日	○
4	オートバックス銚子西店	千葉県	FC	2014年8月8日	○
5	オートバックス沼津原店	静岡県	FC	2014年8月28日	○
6	オートバックス館山バイパス	千葉県	FC	2014年9月12日	○
7	オートバックス富津	千葉県	FC	2014年9月26日	○
8	オートバックス真庭店	岡山県	FC	2014年10月10日	
9	オートバックス・大和吉岡	宮城県	子会社	2014年10月10日	
10	オートバックス・橋本高野口	和歌山県	FC	2014年10月16日	
11	オートバックス春日フォレストシティ	福岡県	子会社	2014年10月23日	
12	オートバックス・伊勢原	神奈川県	FC	2014年10月24日	○

この他に12月までにさらに1店舗の新規出店を予定

既存出店地域において、収益性を重視したスクラップ&ビルドを実施

タイ: 1店舗退店 ⇒ 10月新店オープン
下期にさらに数店舗出店を計画

中国: 1店舗退店 ⇒ 下期に上海にて1店舗オープン予定

⇒これらに伴い在庫廃棄損、
固定資産除却損などが発生

その他の地域でも、検討中



タイ クーボン店(10月17日オープン)

国別子会社の状況

	フランス		中国		シンガポール		タイ	
第2四半期末店舗数	11		0		3		3	
FC含む既存店 売上前年比 (現地通貨ベース)	▲3.1%		▲35.1%		▲5.6%		▲21.3%	
期間	15/3 上期	14/3 上期	15/3 上期	14/3 上期	15/3 上期	14/3 上期	15/3 上期	14/3 上期
売上高 (億円)	41.2	39.9	2.0	2.7	6.8	7.2	2.4	3.2
販管費 (億円)	20.7	19.1	0.9	1.7	2.3	2.3	1.0	1.2
営業利益 (億円)	▲0.8	0.5	▲0.2	▲0.4	0.7	0.9	▲0.5	▲0.2
状況	バッテリーなどが好調だったが、サービスなどが低迷し、売上および粗利が減少。経費面では人件費が増加したことで、営業損失を計上		コスト削減を推進し、2013年10月に不振店舗を退店したことなどにより営業損失縮小。また、今期中の新規オープンに向け、2号店を9月に退店		ネット通販との競合もあり、タイヤの売上が低調だったが、カーエレクトロニクスやホイールなどが好調。営業利益はほぼ前期並みを確保		昨年から続く政変の影響や6月に1店舗退店したことなどにより、売上が減少し、営業損失も拡大	

※億円未満は四捨五入

国内店舗子会社の再編等の実績

項目	実施内容
店舗子会社株式の譲渡	・神奈川エリア店舗子会社全株式をFC法人へ譲渡 (合計4店舗を譲渡)
店舗の譲渡	・東京エリア1店舗をFC法人へ譲渡 ・大阪エリア8店舗のうち4店舗をFC法人へ、 4店舗を店舗子会社へ譲渡
店舗子会社の合併	・福岡エリアの店舗子会社の統合
店舗の譲受 (2014年10月1日付)	・茨城エリア4店舗をFC法人より店舗子会社へ譲受
子会社の経営体制	・7法人で社長交代

2014年3月31日時点 国内店舗子会社 21社 ※ 非営業法人1社除く

2014年9月30日時点 国内店舗子会社 18社 ※ 非営業法人2社除く

2. 通期の業績予想修正および下期の考え方

2015年3月期 对外発表数値



(億円)

	2015年3月期 下期				2015年3月期 通期			
	期初予想	修正予想	期初予想 差異	前年比	期初予想	修正予想	期初予想 差異	前年比
連結売上高	1,237	1,186	▲51	▲7.3%	2,284	2,166	▲118	▲6.5%
売上総利益	409	391	▲18	▲7.4%	753	697	▲56	▲9.4%
	33.1%	33.0%	▲0.1pt		33.0%	32.2%	▲0.8pt	
販管費	313	306	▲7	▲6.6%	618	607	▲11	▲3.6%
	25.3%	25.8%	+0.5pt		27.1%	28.0%	+0.9pt	
営業利益	96	85	▲11	▲10.4%	135	90	▲45	▲35.5%
	7.8%	7.2%	▲0.6pt		5.9%	4.2%	▲1.7pt	
経常利益	106	95	▲12	▲12.7%	154	108	▲46	▲34.2%
	8.6%	8.0%	▲0.6pt		6.7%	5.0%	▲1.7pt	
当期利益	64	56	▲8	▲17.9%	95	60	▲35	▲38.7%
	5.2%	4.7%	▲0.5pt		4.2%	2.8%	▲1.4pt	
既存店前年比	▲4.9%	▲9.0%	▲4.1pt		▲2.4%	▲8.9%	▲6.5pt	
全店前年比	▲2.9%	▲7.5%	▲4.6pt		▲0.4%	▲7.4%	▲7.0pt	

億円未満は四捨五入
対売上比・前年比は百万円単位で計算

事業環境

全体的に消費者の購買意欲は低調。ただし、自動車に関わる税制変更により、年度末に駆け込み需要を予想

営業施策

- ・ カー用品販売は、タイヤを中心に経営資源を集中（品ぞろえ、販売体制、付加サービスなど）
- ・ 40周年、年度末販促など、店舗売上促進のための販促実施

下期の店舗売上前提

既存店	▲9.0%			
全店	▲7.5%	}	カー用品(車検含む)	▲8.5%
			内、車検・整備	▲1.5%
			車買取・販売	+1.0%

中長期的視点に立ったビジネスの変革が優先課題



短期的な市場変化に対応しつつ、中期経営計画に沿った施策を推進

- 「クルマのワンストップ・サービス」業態への変革
- 販売チャネル・拠点の拡大
- PB商品戦略の再構築

中期経営計画の項目と今後の施策

分野	施策
カー用品	①新PB商品ラインナップ拡大 商品力と粗利率の向上に向けた取組み強化
	②PB・専売タイヤを中心とした競争力の強化
車検・整備	①実施台数の少ない店舗への指導強化
	②車検サテライト店の検討
車買取・販売	①加盟店舗の拡大
	②商品力の強化:カーリース、ディーラー業
Eコマース	Eコマースから店舗への送客の推進 ・認知度の向上 ・使い勝手の良さの追求 ・サービスメニューの販売など
その他	・店舗オペレーション改革を一部店舗にて実験開始 ・シニア層、女性へのアプローチ拡大

中期経営計画(海外事業のロードマップ)



	2015年3月期	2016年3月期 ～2018年3月期
方針	基礎固め	単店収益拡大から展開へ
既存出店 地域	<ul style="list-style-type: none"> 不採算店の閉店もしくはスクラップ&ビルド 在庫の削減 店舗以外への販売準備 	<ul style="list-style-type: none"> 価格、粗利率の見直し 仕入先の改変 商品・サービスの拡充 新規出店
新規エリア	<ul style="list-style-type: none"> 出店開始 (マレーシアなど) 	<ul style="list-style-type: none"> 拡大、新規出店 一部、FC展開も視野に
その他	<ul style="list-style-type: none"> 本部費用削減 経営基盤固め(主に人材) 提携・M&Aの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 提携・M&Aの実施

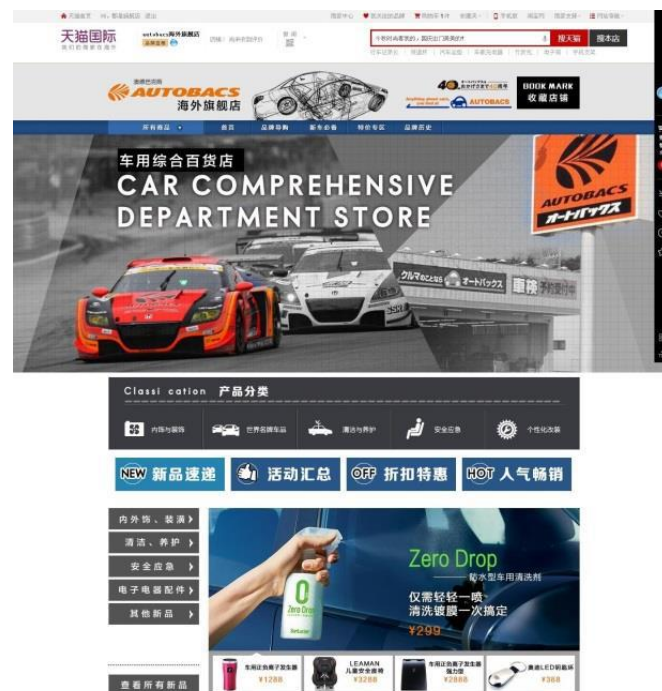
マレーシアに子会社を設立

- ・ジョホール州における新規出店を目的に子会社を設立
- ・事業開始日：2015年3月（予定）

中国におけるECビジネスに参入

- ・アリババグループ

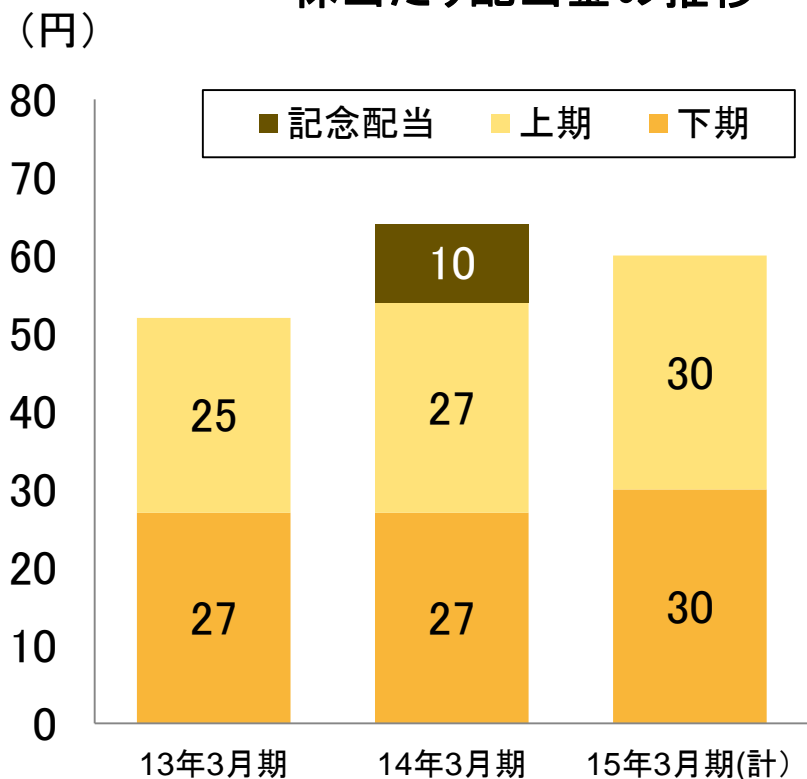
「天猫国際（Tモール・グローバル）」に出店



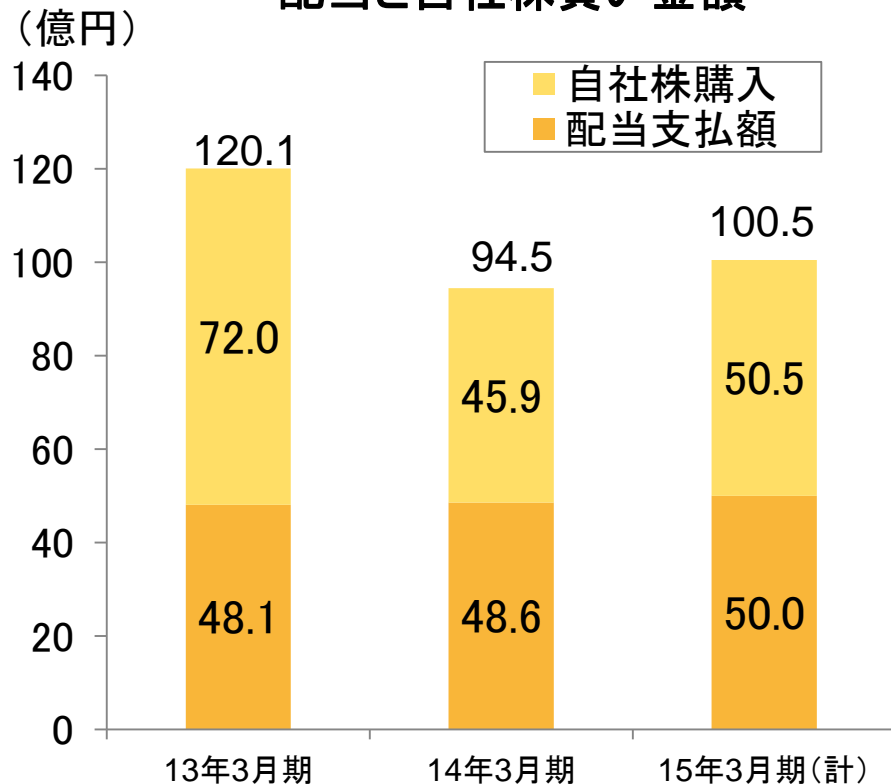
天猫国際（Tモール・グローバル）のサイト

利益配当：方針（DOE3%以上）に沿って変更なし
 自社株買い：5月発表したものについては実施済み

一株当たり配当金の推移



配当と自社株買い金額



※13年3月期は、比較のため株式分割後で換算しています。

- 上期は、消費税増税の反動や天候不順の影響は大きかったが、事業環境の変化への対応が不十分であったため、減益となった
- カー用品市場は、厳しい状況が続くという前提に立ち、中期経営計画の施策に沿って、「クルマのワンストップサービス」業態に向けた変革を推進する



見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性がございます。

参考資料

四半期毎の連結損益計算書



(億円)

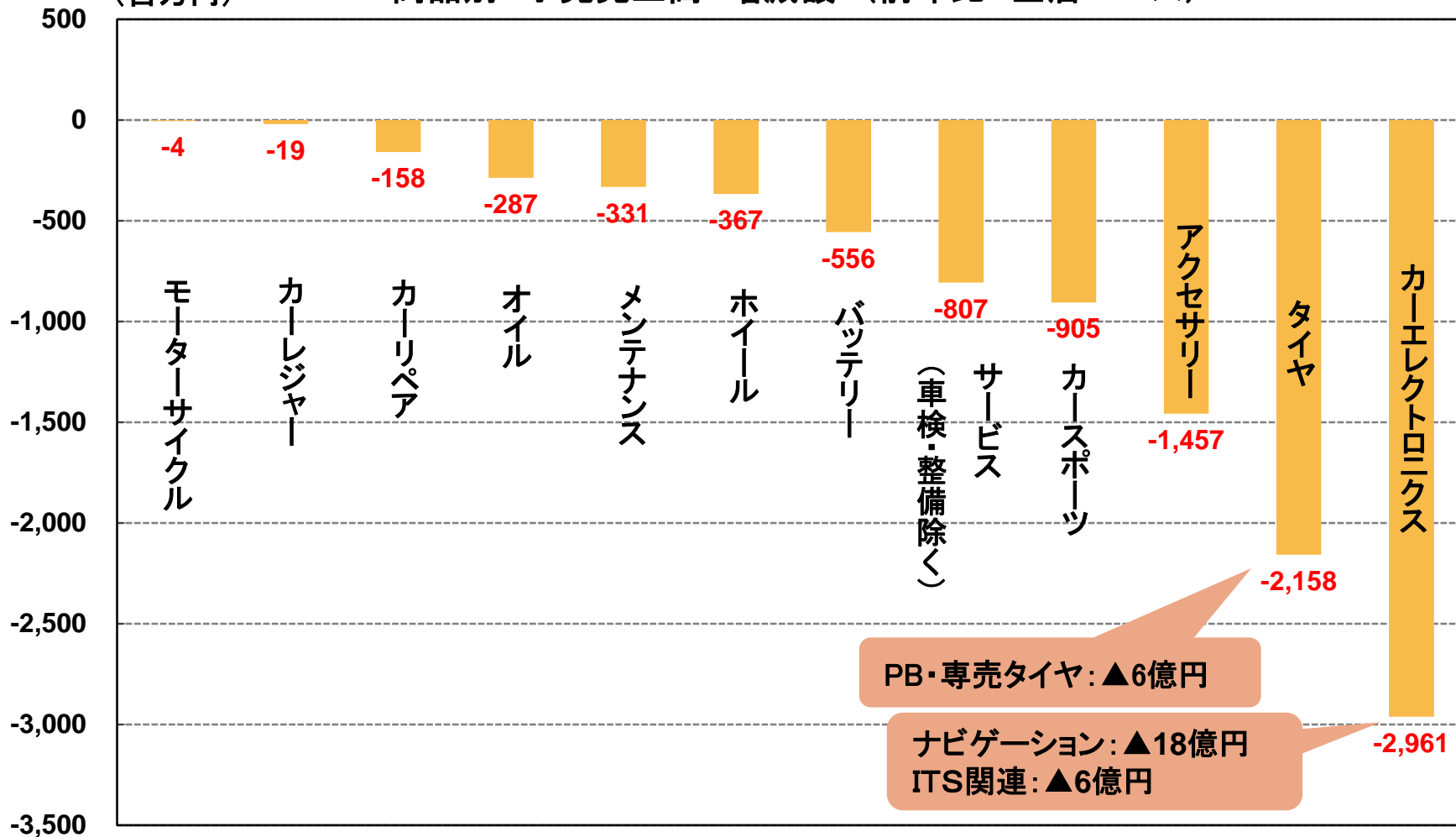
	2015年3月期 第1四半期		2015年3月期 第2四半期		2015年3月期 上期	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
売上高	485	▲7.5%	496	▲3.4%	980	▲5.5%
売上総利益	148	▲13.0%	157	▲10.5%	306	▲11.7%
売上比	30.6%	—	31.8%	—	31.2%	—
販管費	150	▲0.9%	151	+0.1%	301	▲0.4%
営業利益	▲2	—	7	▲73.0%	5	▲88.6%
売上比	▲0.4%	—	1.4%	—	0.5%	—
経常利益	4	▲83.5%	9	▲70.0%	14	▲75.8%
売上比	0.8%	—	1.9%	—	1.4%	—
当期利益	2	▲87.6%	3	▲84.6%	4	▲85.9%
売上比	0.3%	—	0.5%	—	0.4%	—
既存店前年比	—	▲12.6%	—	▲4.7%	—	▲8.6%

億円以下、四捨五入表示
対売上比・前年比・計画比は百万円単位で計算

2015年3月期上期 商品別 カー用品売上増減額

既存店売上前年比 ▲8.6%、客数前年比 ▲6.7%

(百万円) 商品別 小売売上高※増減額 (前年比 全店ベース)



※対象: 国内全業態(オートバックス、スーパーオートバックス、カーズ、セコハン市場、エクスプレス)の売上高

連結調整の内容について

連結調整の状況

	(百万円)	
	2015年3月期 上期	2014年3月期 上期
セグメント単純合算 営業利益	800	4,644
セグメント間取引消去 (機能子会社の利益など)	▲215	▲80
棚卸資産の調整額 (子会社在庫の未実現利益など)	▲247	▲245
のれんの償却額	▲107	▲61
固定資産の調整額	205	110
ポイント引当金洗替額	60	13
その他	12	82
連結調整(消去)計	▲292	▲180
連結営業利益	507	4,464

〔 百万円未満は切り捨て表示 〕

セグメント情報

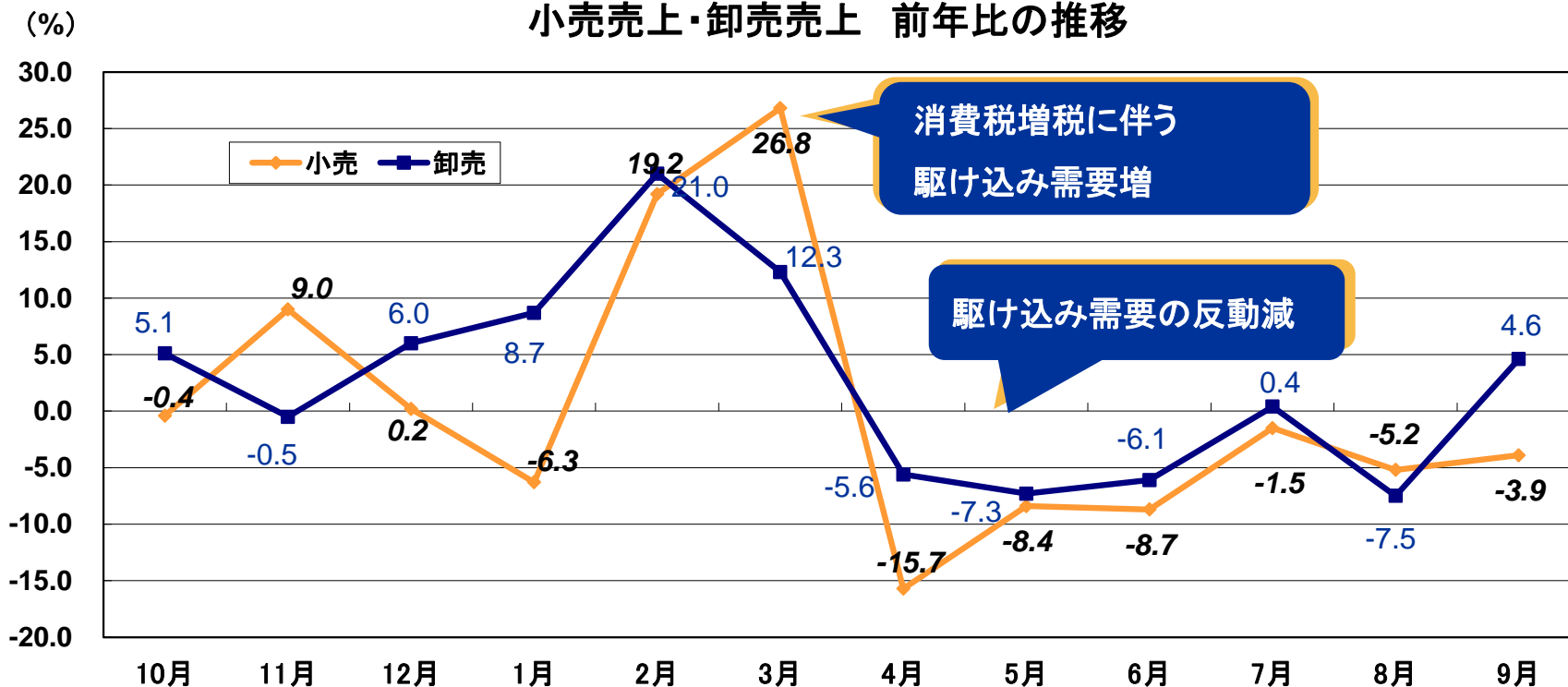


		(億円)				
		2015年3月期 上期	2014年3月期 上期	前年同期比	計画	計画比
単体	売上高	786.6	816.6	▲3.7%	782.0	+0.6%
	営業利益	29.9	54.2	▲44.8%	33.0	▲9.4%
国内店舗子会社	売上高	305.0	359.0	▲15.0%	310.0	▲1.6%
	営業利益	▲24.0	▲11.9	—	▲21.0	—
海外子会社	売上高	52.4	53.0	▲1.1%	56.0	▲6.4%
	営業利益	▲0.7	0.7	—	▲0.5	—
事業子会社	売上高	75.8	74.0	+2.5%	76.0	▲0.2%
	営業利益	0.4	1.0	▲64.1%	1.0	▲63.0%
機能子会社	売上高	15.4	15.9	▲3.4%	15.5	▲0.6%
	営業利益	2.4	2.4	▲0.4%	2.5	▲5.2%
単純合算	売上高	1,235.3	1,318.5	▲0.3%	1,239.5	▲7.4%
	営業利益	8.0	46.4	▲82.8%	15.0	▲46.6%

※四捨五入、比率は百万円単位で計算

小売売上と卸売売上の月次トレンド、店舗在庫の状況

小売売上・卸売売上 前年比の推移



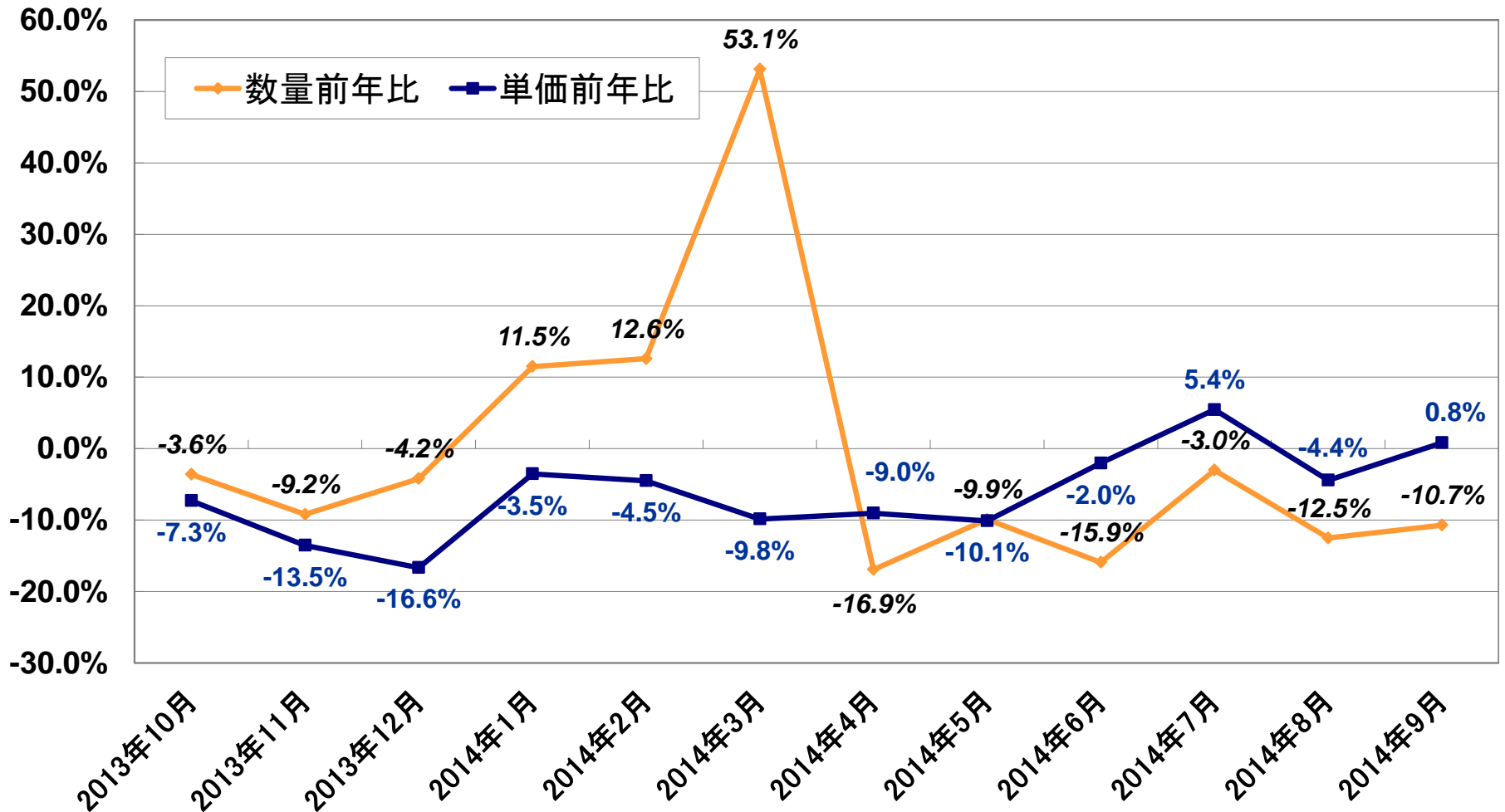
店舗在庫

	2013年9月末	2014年3月末	2014年9月末	一年前との比較	半年前との比較
タイヤ	75億円	62億円	84億円	+12.0%	+35.4%
カーエレクトロニクス	80億円	76億円	87億円	+8.8%	+14.4%

対象: ※FC店舗を含む 国内全業態
(オートバックス、スーパーオートバックス、カーズ、セコハン市場、エクスプレス)

ナビゲーションの単価と売上数量

ナビゲーションの単価と売上数量の前年比



対象: ※FC店舗を含む 国内全業態
(オートバックス、スーパーオートバックス、カーズ、セコハン市場、エクスプレス)

車買取・販売のフローとQ2の販売台数

お客様



買取



4,422台

店舗からの業販

1,554台

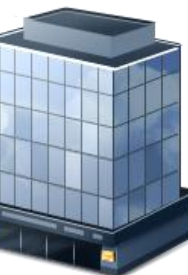
本部への売却
(含む、AA売却依頼)

3,571台



新車ディーラー
中古車ディーラー
オートオークション

仕入



本部



本部からの業販



中古車取扱業者・
オートオークション

仕入



中古車取扱業者・
オートオークション



小売

5,501台

(新車1,648台、中古車3,853台)

お客様



	2015年3月期第2四半期 販売台数
店舗における小売	5,501台
店舗からの業販	1,554台
本部への業販	3,571台
合計	10,626台

単体・国内店舗子会社 上期業績のポイント

単体

売上高 787億円 (対前年:▲30.0億)	卸売部門 ▲28.7億円(▲3.7%) 増:車販売、燃料、サービス 減:カーエレクトロニクス、オイル・バッテリー、車内用品など
	小売部門 ▲1.3億円(▲5.3%) 増:車販売、サービス、ネット販売、保険手数料収入 減:中古品、カースポーツ、タイヤ・ホイール、燃料など
売上総利益 160億円 (対前年:▲14.6億)	卸売部門 ▲12.7億円 (▲7.7%) 増:海外向け卸売 減:車内用品、オイル・バッテリー、カーエレクトロニクスなど
	小売部門 ▲0.9億円(▲12.8%) 増:サービス、ネット通販、保険手数料収入 減:タイヤ・ホイール、中古品、カースポーツ、車販売など
販管費 130億円 (対前年: +9.6億)	人件費: 前会計年度業績に対する業績連動報酬などの費用が増加
	販売費: テレビCMや新聞広告などの広告宣伝費や販売促進費用が増加
	設備費: PBタイヤ金型などの減価償却費が増加
	その他: 株主優待ポイント費用や消費税増税対応などの情報処理費用が増加

国内店舗子会社

売上高 305億円 (対前年:▲54.0億円)	FC加盟法人への店舗譲渡や消費税増税の駆け込み需要の反動や、新車販売とこれに伴うカー用品需要の低下などにより売上および粗利額が減少。販管費は店舗譲渡による減少があったものの、消費税増税後の売上低迷に対する販促施策の強化を継続したこともあり、営業損失が拡大
営業利益 ▲24.0億円 (対前年:▲12.1億円)	

連結貸借対照表 資産の部



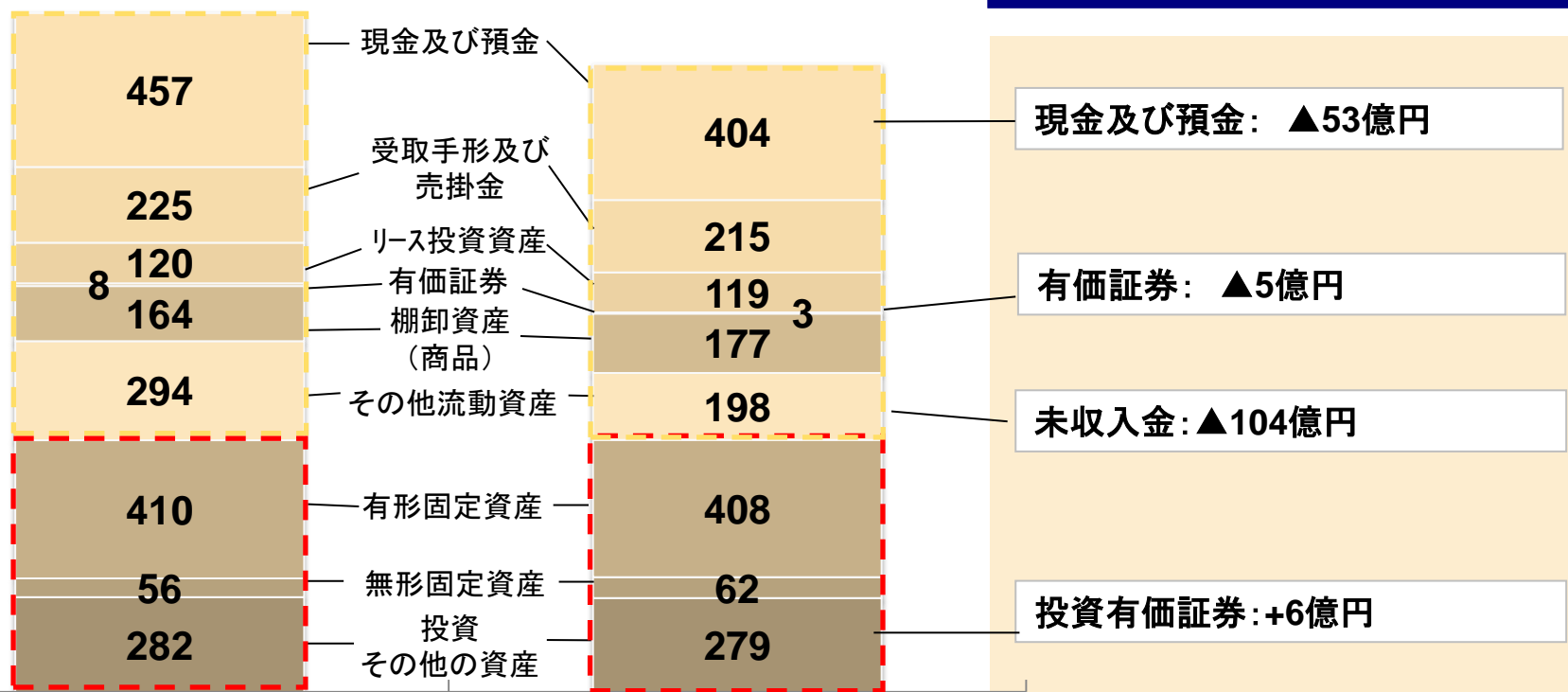
資産合計

2,015億円

資産合計

1,864億円

主な変動項目



2014年3月期末

2014年9月末

四捨五入表示

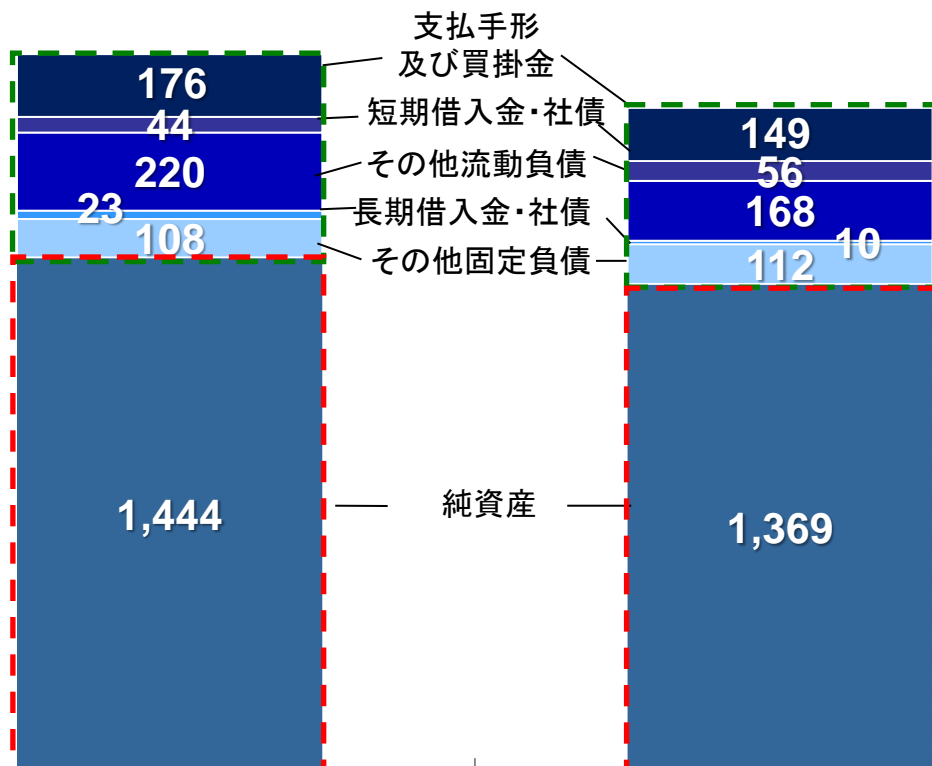
連結貸借対照表 負債・純資産の部

負債・純資産合計

2,015億円

負債・純資産合計

1,864億円



主な変動項目

未払金: ▲38億円

未払法人税等: ▲5億円

利益剰余金: ▲74億円

自己株式: ▲5億円

2014年3月期末

2014年9月末

四捨五入表示

国内出退店 実績と計画

	14/3 末	2015年3月期							15/3 末
		上期(実績)			14/9 末	下期(計画)			
		新店	S/B R/L	退店		新店	S/B R/L	退店	
オートバックス	478	+7			485	+7	+2/▲2		492
スーパーオートバックス	75				75				75
セコハン市場	10				10				10
オートバックス・エクスプレス	8				8	+1			9
国内計	571	+7			578	+8	+2/▲2		586

S/B=スクラップ°&ビルド°、R/L=リロケーション

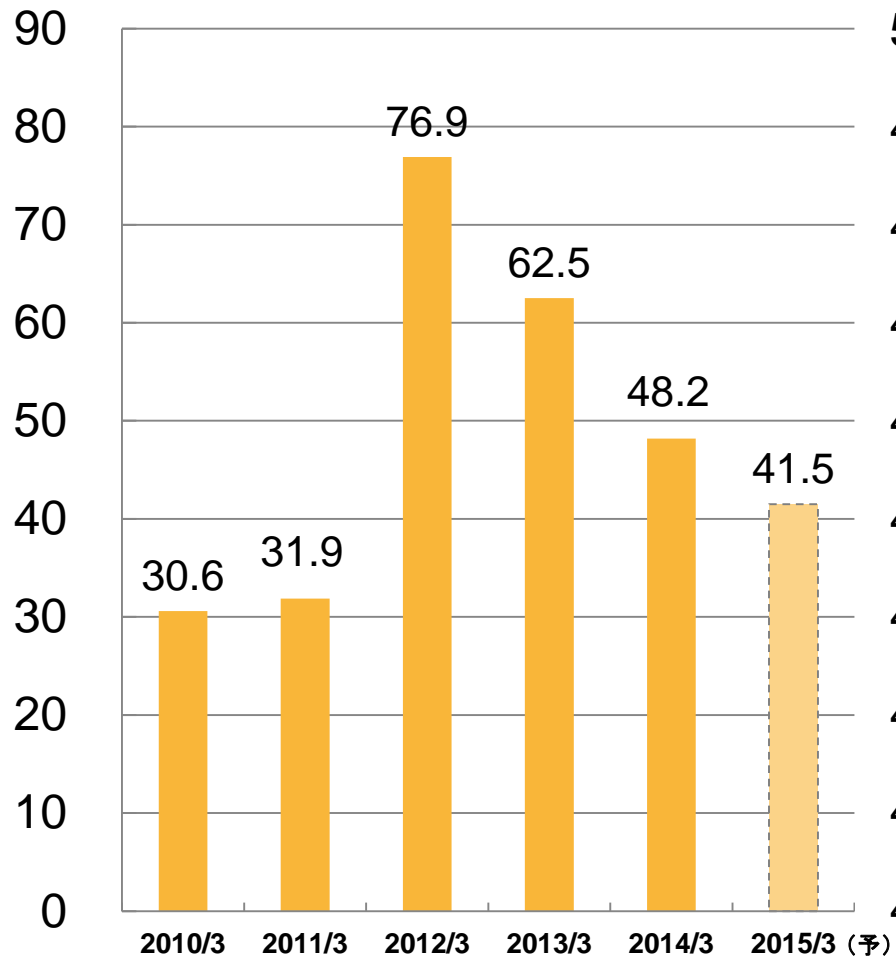
海外出退店計画

	2014/3末	2015年3月期			2015/3末
		上期	14/9末	下期(計画)	
フランス	11		11		11
中国	1	▲1	0	+1	1
タイ	4	▲1	3	+3	6
シンガポール	3		3		3
台湾	6		6		6
マレーシア	2		2		2
海外計	27	▲2	25	+4	29

設備投資と減価償却費

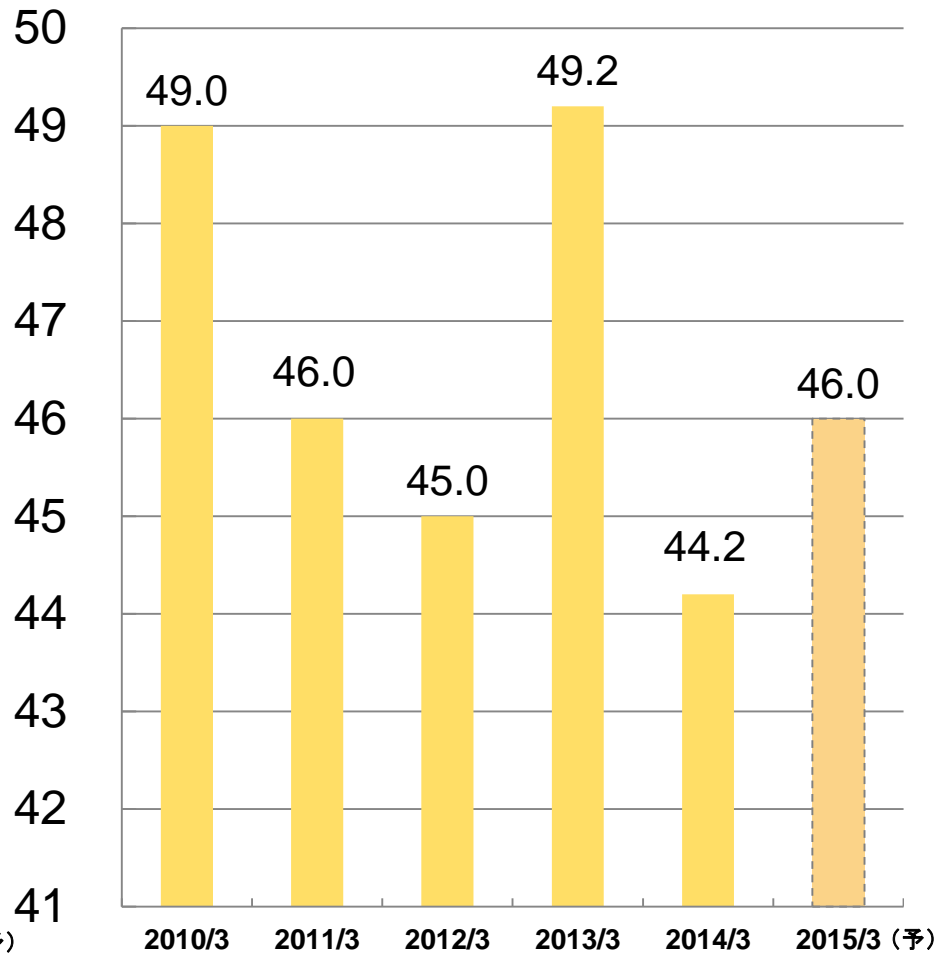
設備投資

(億円)

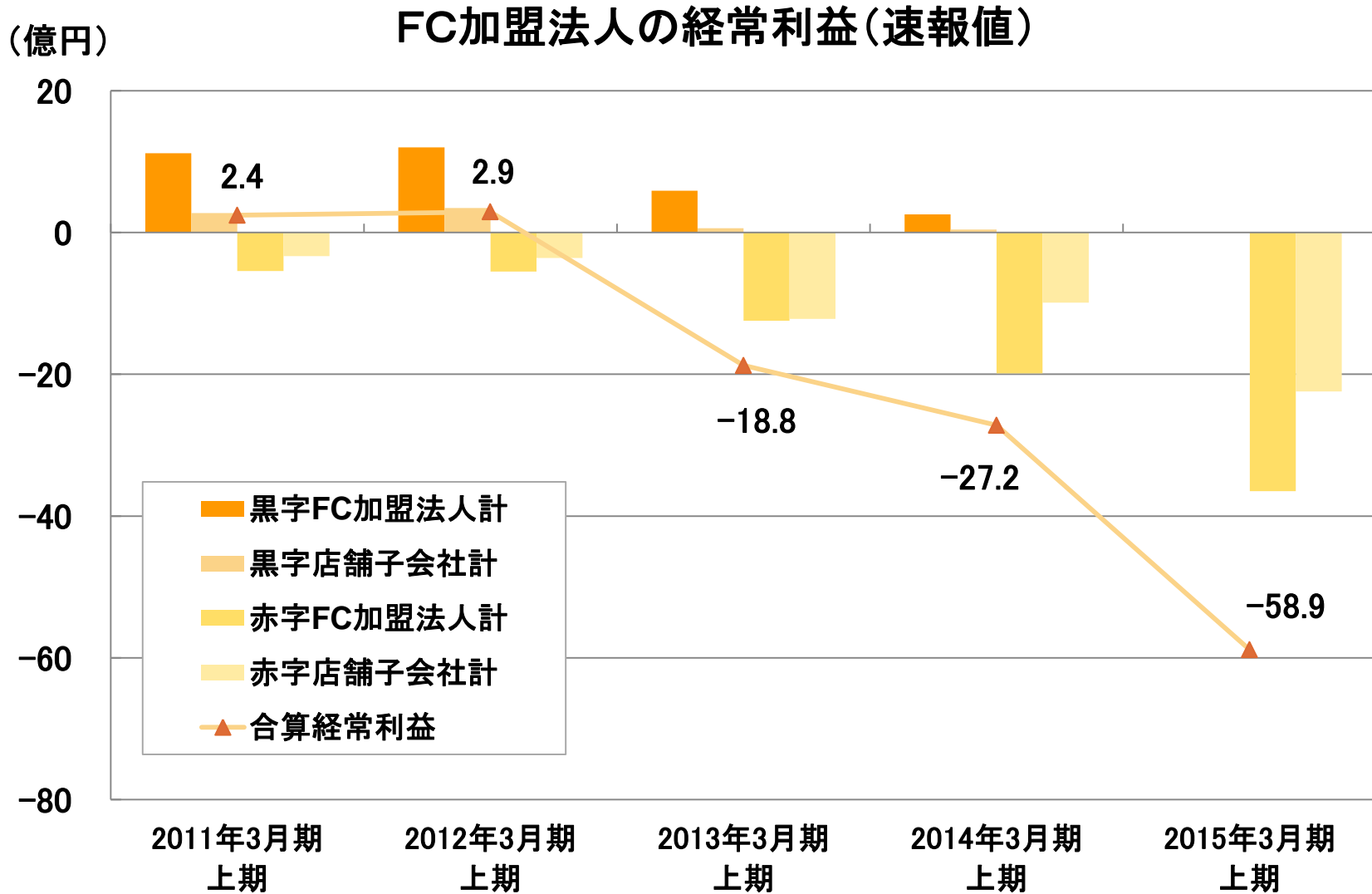


減価償却費

(億円)



FC法人の決算状況



注) 上場FC加盟法人3社除く



見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性がございます。